

# 火薬類消費計画書（記載例）

鹿児島県株式会社

申請者氏名 代表取締役 ○○ ○○

消費の方法	(1) 消費時刻	午前8時 ~ 午後5時		
	(2) 発破する岩石の種類及び数量	砂岩 5,000m <sup>3</sup>		
	(3) 発破の方法	1日の発破回数	( <u>㉑</u> 1 ~ <u>4</u> <sup>①</sup> 回)	
		1回の斉発数	( <u>㉒</u> 10 ~ <u>50</u> <sup>②</sup> 孔)	
		1発破孔当りの装薬量	( <u>㉓</u> 50 ~ <u>300</u> <sup>③</sup> g)	
	穿孔長	( 2 ~ 3 m)		
	込め物の種類	( 砂 )		
	装薬の方法	( 穿孔法 )		
	結線の方法	( 直列結線 )		
(4) 発破時の退避の方法	発破10分前に100m以上離れた安全な場所に退避する。			
(5) 発破器具の設備の状況	電気発破器100発掛, テスター, 発破母線100m			
危害予防の方法	(6) 警戒の方法	発破10分前に赤旗と無線を使った見張人を配置し, 危険区域内に立ち入らせない。		
	(7) 警告の方法	発破5分前及び1分前にサイレンで警告する。		
	(8) 防護措置	古タタミ, 古タイヤ, 金網を使用する。		
	(9) 交通制限	発破5分前に通行止めを行う。 ※(4)~(9)は具体的に		
(10) 火薬類取扱所の概要	コンクリートブロック造 3.3m <sup>2</sup> 定員2名 (設けない場合は「設けない」と記入)			
(11) 火工所の概要	テント式 2.1m <sup>2</sup> 定員1名 ※構造, 面積, 定員等を記入			
(12) 消費場所内の運搬方法	運搬人が運搬箱2個を使用し, 徒歩で運搬する。 ※「誰が」, 「どのように」, 「箱の数も」も記入			
火薬類消費数量算定基礎	※6ヶ月で計算 <sup>⑮</sup> 火薬類の種類	申請期間中見積数量	1日の使用量(概要)	月間使用量見積り <sup>⑭</sup> ※平均10日で計算 (月間 5~15日使用)
		自 3年 5月 1日 至 3年 5月 31日	平均   最高	平均   最高
	爆薬 (kg)	<sup>⑫</sup> 1, 200	<sup>④</sup> 20   <sup>⑥</sup> 60	<sup>⑧</sup> 200   <sup>⑩</sup> 900
	電気雷管 (個)	<sup>⑬</sup> 7, 200	<sup>⑤</sup> 120   <sup>⑦</sup> 200	<sup>⑨</sup> 1, 200   <sup>⑪</sup> 3, 000

※数量算定上の留意

$a \times b \times c < 4 < 1 \times 2 \times 3$	$1 \times 2 \geq 7$	$6 \times 15 \text{日以内} \geq 10$
$a \times b < 5 < 1 \times 2$	$4 \times 14 = 8$	$8 \times 15 \div 12$
	$5 \times 14 = 9$	$9 \times 15 \div 13$